

開催日時	令和8年9月30日(水) 19時30分～
開催場所	オンライン (Zoom)
出席者	山内、森、山本、石橋、落合、菅野、藤井、新島、西角、藤
欠席者	中谷
記録者	山内
議題 1	講習部主催講習会について
【内容】 ・ 8/30(日)「基礎から学ぶ最先端がんリハビリテーション」の振り返り 申し込み：379名（内、兵庫県211名） ※兵庫県士会員は無料、他協会員（県外）は1,000円の受講料設定 県外168名申し込みで168,000円の収入 当日受講者：297名（スタッフ、講師含む） ※うちGoogle formでの履修希望者：17名 ・ 今後の予定 12/6 セラピストのためのデータサイエンスの真髄と実践 1/17 広がる理学療法士のフィールドー キャリアの可能性と選択ー（理学療法講習会）	
【決定事項】 特記事項なし	
議題 2	2027年度理学療法士講習会について

【内容】

2027 年度より、講義形式（オンデマンド配信）と実技・グループワーク形式の2形式で実施

①講義形式（オンデマンド配信）の講習会

②実技・グループワーク形式の講習会

講義形式で挙げた案：パーキンソン病、脳卒中、小児、目標設定、スポーツ疾患、統計、ヘルスリテラシー・意思決定支援、高次脳機能障害や認知症、呼吸、エコー、教育デザイン・診療参加型臨床実習、リフレクション、人材育成など

実技形式で挙げた案：運動器エコー（骨格筋評価のために必要な知識）、プログラミング（AIを使用した動画解析アプリ作成、筋電図解析など）、装具を使用したトレーニング、スポーツ疾患、テーピングやアプローチ、人工関節の理学療法、基本評価を再考する、組織の管理運営・求められる力、出産後のウィメンズヘルス分野（腹直筋離開のある人や帝王切開での出産で出産後、腹筋群へのアプローチ、産前産後ケア、骨盤底筋エクササイズの指導方法や徒手での誘導の仕方など）、脳血管障害や脳画像、長下肢装具の歩行、電気刺激療法、股関節疾患の評価・治療、膝関節疾患の評価・治療、足関節・足部疾患の評価・治療、クリニカルリーズニング

講習会全体を見渡しても小児の理学療法分野についての講習会が少ないように思う。実臨床においても、小児分野理学療法の知識・技術不足に関する話題を聞くことがある。そのため、講習部としても小児分野の講習会を行う意義があるのではないか。一方で、こども生涯支援部との調整が必要。

講義形式としては、目標設定をテーマとする講演会への賛成意見が多かった。

実技形式としては、ウィメンズヘルス領域の講習会への賛成意見が多かった。ウィメンズヘルス分野の実技講習（骨盤底筋群などのトレーニング）は学会でもされており、十分実施可能。実技会場の確保も可能。30名程度の実技が望ましい。

【決定事項】

2027年度の理学療法講習会は以下の内容で決定

- ・ 講義形式：目標設定
- ・ 実技：ウィメンズヘルス分野

その他挙げた案については、次年度以降の講習会や講習部主催の講習会として行うこととなった。

次回の予定	日時：未定
日時・場所	場所：Web
今後の予定	2027年度の理学療法士講習会の詳細を決定していく